

「働き女子 1,000 名白書」から生まれた
まるのうち保健室×ナチュラルローソン共同開発
『鶏とバルサミコソースのブロッコリー弁当』
 -3月6日(火)よりナチュラルローソンにて発売-

三菱地所株式会社(本社:東京都千代田区大手町 執行役社長:吉田淳一)が運営する「まるのうち保健室^{※1}」は、「働き女子 1,000 名白書」の調査データを基に、働く女性が抱える食の課題をサポートする弁当『鶏とバルサミコソースのブロッコリー弁当』を株式会社ローソンと共同開発しました。2018年3月6日(火)より、ナチュラルローソンにて販売いたします。

三菱地所は「Will Conscious Marunouchi」^{※2}プロジェクトの一環として、働く女性に特化した健康測定やカウンセリングを行う「まるのうち保健室」を実施してきました。2014年より働く女性(20~30代)のリアルな食生活や健康、就業環境等に関する調査を行い、日本初の調査データ『働き女子 1,000 名白書』を発表。働く女性は、食物繊維やビタミン不足、朝食欠食など、食に関する課題を抱えており、平均摂取エネルギーの不足などの栄養問題が深刻であることが明らかとなりました。それらをサポートする施策として、働く女性に支持されているコンビニエンスストアのナチュラルローソンとコラボレーションすることで働く女性たちをターゲットに食の提案を行います。

『鶏とバルサミコソースブロッコリー弁当』(税込価格 530 円)は、1食で1日にとりたい野菜量^{※3}の1/3が摂取できます。バルサミコソースのグリルチキンをメインに野菜と卵、キノコを使った副菜などをあわせた栄養バランスのよい弁当です。

今後も三菱地所は街づくりを通じ、個人・環境・社会と三位一体となった環境づくりこそが未来の疾病リスクの回避に役立つと考え、働く女性の健康サポートを目指してまいります。



※¹ **まるのうち保健室** <<http://willconsciousmarunouchi.jp/hokenshitsu/965/>>

まるのうち保健室は、丸の内エリアを中心に働く女性を募集し、食生活調査やヘモグロビン、体組成などの測定を実施。集計された測定結果から、<栄養><運動><睡眠>を軸とする簡単に実行できる仮説メソッドを策定し実行。生活習慣や測定データの変化を約1か月間モニタリングしていくことで、仮説メソッドの効果検証を行ってきました。

2017年9月にも株式会社ローソンと連携し、買い合わせを提案しました。今後も働く女性の健康課題の解決に向け、さらに多くのパートナー企業と手を結び、長く健康に輝きながら働き続けられるようサポートしてまいります。

※² **「Will Conscious Marunouchi(以下、WCM)」プロジェクト** <<http://Willconsciousmarunouchi.jp>>

あなた自身を知り、食とからだについての知識を取り入れ、日々の食や生活習慣を整えていくことで、バランスの取れた、健康な思考とからだを作る。丸の内という街を舞台に、より充実した毎日を過ごすために、女性のこれからの長いライフイベントと一緒に学び、食を通して、女性のからだと未来を作るプロジェクト。

※³ 厚生労働省が推奨する1日の野菜目標摂取量(350g以上)

○参考情報: 丸の内エリアの新しいコンセプトワードについて

Dynamic Harmony
Tokyo Marunouchi

三菱地所(株)は2015年8月、丸の内(大手町・丸の内・有楽町・常盤橋地区)エリアのまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」を踏まえ、まちづくりコンセプトを伝えるワード「Dynamic Harmony」を制定しました。「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。